

小豆島農村歌舞伎調査事業

予算額: 1,775千円

【平成27年3月】

「小豆島農村歌舞伎」が国（文化庁所管）の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択
（調査不足により現時点では重要無形民俗文化財の指定に至らないが、今後指定の可能性が予想されるもの）

農村歌舞伎の持つ特性(価値)

瀬戸内海を媒介とした
上方歌舞伎との関係性

役者、太夫、裏方全てを
住民が担う自主性

地域の義民伝等
演目の独自性

【29年度以降】 国庫補助金を受けて、土庄町と小豆島町共同で記録作成事業（報告書作成）を実施！

- 各種調査や資料の整理、過去の研究成果等の集積を通して、**小豆島全体の農村歌舞伎の価値づけ**を行う。
- 調査後、農村歌舞伎の持つ価値が認められれば、**国の重要無形民俗文化財への指定の可能性**もある。

報告書の刊行(歌舞伎に関する資料、事柄の整理)

1. 舞台に関すること
2. 根本（歌舞伎の台本）に関すること
3. 衣装やかつら等の道具に関すること
4. 演目、歴史に関すること
5. 歌舞伎に関わる人々に関すること
6. 現存地区以外の歌舞伎に関すること 等々

※有識者、地元の意見をききながら決定

タイムスケジュール

- | | |
|------|------------------------------|
| 28年度 | 概要の決定、予備調査、委員会の設置
※町単独で実施 |
| 29年度 | 調査、資料編の刊行 |
| 30年度 | 予備調査、研究編の刊行 |

